



もり  
森林の風

特定非営利活動法人  
森林の風  
会長 蒲田 博  
2011.12.20. 発行

第10号

だ よ り

## 国際森林年記念植樹

～ また森林（もり）で逢いましょう ～



2011.11.6(日)：四日市市西山町

(社)四日市青年会議所と三重県の共催で、国際森林年記念事業「また森林(もり)で逢いましょう」が開催され、森林の風がそのお手伝いをしました。今後の管理も行います。約130人の参加者のみなさんは、クヌギ・コナラ・シラカシなど「どんぐり」の苗木を植栽しながら、木が大きく成長し小鳥やカブトムシが集まっている姿を思い描いたことでしょう。ぜひ時折訪れて「えがおのあふれる森林」として行ってほしいものです。

森林施業 NPO法人  森林の風

連絡先／〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088  
<http://www.morinokaze.info> \*詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。





森林保全活動が続けていく中での楽しみのひとつに、いろんな方との出逢いがあります。共感したり、尊敬したり、もっと学びたいと思ったり。せっかくの出逢いを大切にしたい、そんな森林の風からのラブコール。

今回は身近な地元で、NPOの森林保全活動とはまた異なった林業のプロの世界をうかがってみましょう。いなべ市北勢町の「佐藤林業」代表で親方の佐藤誠治さんに、勤めて4年目の富田陽子さんがインタビューをしていただきました。

**Q、この仕事を始められたのはいつからですか？ 当時はどのような仕事をされていたか？**

昭和41年12月からです。3月に工業高校を卒業して桑名の会社に入社。自分の一生の仕事と考えた時、子供の頃から山や自然が好きな私がこの仕事を続けられるのかと思い、周りの大反対を押し切り父親の山での仕事、その時は炭焼きに飛び込みました。自分の決めた道なので、冬の寒さや夏の暑さも弱音をはかずに仕事を覚えていきました。

**Q、40年前、20年前と比べて大きく変わったなと思う所はどこですか？**

40年前自分が山の仕事に入った当時は、仕事を覚える事が一番で色々な事に挑戦しました。山も広葉樹林が多く人工林(針葉樹)に変わりつつあり、主伐の木も太く(胸高60cm~80cmが並材)、林齢も70年~80年生が並材で、90年生の高いものもありました。各所で植林、下刈等の作業が見られ、林業従事者も多くあり、製材所も7~8人の職人さん、5~6人の大工さんがいつも働いていました。

平成に入った頃から人工林が成長して山や雑木林は放置され、成長に合わせた作業が多くなり、又、林業では仕事を確保できないとして山の作業員たちが会社(鋳物工場=力仕事)や建設会社に勤めるようになり、自分たちが取り残された様な時もありましたが、昔からの信用や入札資格などのおかげで休むことのないくらいの仕事量を確保できるようになりました。杉やヒノキも細く以前のような大型のチェーンソーは中型、小型のチェーンソーに変わり安全面も大きく変わりました。



**Q、やりがいを感じる時はどんなときですか？**

やりがいというより山で何か作業している事が楽しい。1日が早く終わってしまいます。少しでも山で仕事がしたいので、夏の日には朝4時~5時に作業に出ます。やりがいは仕事が出来るといこと。

**Q、大変だな、辛いと思うときはどんなときですか？**

大変だなと思うことは今の仕事を期限までに終わらせることや、個人さんの仕事を断らずにこなすことです。仕事の期限が迫ってきて、雨や雪の中どうしても若い子たちに作業に出てもらわなければならない時が辛いです。

**Q、この仕事の魅力は何ですか？**

とにかく自然の中ということ。山を子や孫に残して行く仕事ですので、やりがいがあります。自分たちのした事、してきた事が環境に大きく影響することです。





Q、これまでで印象に残っている現場や仕事について教えてください。

この仕事は同じ様なことをしますが、全てが頭を使ってその時の条件に合う作業を行いますので、どの仕事も現場もその場へ行けば、こんなことがあったなと思い出のあるところばかりです。

一番印象に残っている仕事は神社の社木の伐倒です。

4mの所から2股に分かれ、股の1本が直径1m以上ある大木でした。上が枯れつつあり、腐れがどこまであるか分からない状態で、枝は北と南に張っているが、北の方向へと倒さなくてはならない。社殿があるため重機やクレーンは入ることは出来ず、チルホールのワイヤーの取り付け、足場・安全性、方向、伐倒後の木の動きを読むのに1週間以上考えました。

仕事が自分の考え、予定通りに出来た時はホッとしました。氏子の方をはじめ皆さんから認めていただく仕事が出来た事、今までの中で、プロとしてやり遂げた満足感が一番あったと記憶しています。

Q、これからの若い従業員や担い手にはどんな事を期待しますか？

佐藤林業でこれまで仕事してきたことを、忘れず10年、20年と続けてほしい。



富田さん

親方佐藤さん

Q、今後の目標は？(これからどんな山作りをしたいですか？)

国や県の森林施業に対する目標等を踏まえて若いスタッフたちが今後とも長続き出来るよう10年後、20年後を見据えての森作りをしていきたい思います。

Q、ここだけは誰にも負けない！オレ自慢を1つ！！

64歳になりましたが、まだまだ若い子には伐倒技術は負けないと思います(？)

健康で山仕事が出来ること、若い子たちの覚えが早いのは私の教えが良いということでは???笑

SIDE1. 植物図鑑

フユノハナワラビ

この植物はシダ科の植物で半日陰など大木の下などが生息場所です。ちょっと湿り気のあるところがお気に入りのようです。

昔はもっとたくさん見られたのですが、最近あまり見られません。

地味な植物ですが、綺麗だとか、香りがいいとかということはないのですが山野草として盆栽にされるなど愛好家も多いようです。

晩秋に山の林縁部など木の陰でひっそりと花(孢子囊)を見せられます。薄い黄色の孢子囊が分かりますか？春のワラビのように食べたという話は聞いたことがありません。念のため。



真ん中の黄色いのが孢子囊です。

写真がちいさい上に見づらくてすみません。興味のある方はインターネットで画像検索して見てみてくださいね。

お知らせNotice 寄附金募集のご案内

NPO 法人は自治体や企業のご理解のもと、補助金や助成金によって活動が支えられています。契約で成り立つ事業もありますが、助成金による事業は申請書を書き、通れば活動資金となります。より調達が難しいのは維持運営のための費用や、規模の小さな活動の費用となってきます。安定的に活動するためには資金が必要です。また、NPO 法人としてより厳正に運営していると社会に認められるためには予算の一定額が寄附であることが求められます。そのようなわけで、4月の新年度より寄附を募ります。 よろしく願いいたします。詳細は事務局までお問い合わせください。

刈払機の写真訂正 <編集係より>

機関紙第9号の中で刈払機の安全作業についての記事がありました。その中で写っていたのは肩架け式のベルトでした。腰バンド付きのベルトが正解です。申し訳ございません。正解の写真を載せますので間違いのないようお願いいたします。

腰バンド





## 随筆 Essay 山の麓に立つ

5月から11月までの半年間、森林の風は、獣害対策を中心として御在所岳頂上の保全事業を菰野町から委託されました。その事業のメンバーだった天春(あまがす)里奈さんに感想を寄せていただきました。これまで仕事でも余暇でも好きなことを全力で！とやってきた天春さんが、森林の風と出逢ったら？

「この水の始まりって、海と山どっちだと思う？」波待ち中に、何気なく仲間と交わした話題。「でもさ、山が壊れたら、きっと海も道連れだよな。」

今振り返ると、山の現状を知らなくてはと思ったこの時が、そもそものきっかけだったのかもしれませんが。田舎生まれの田舎育ち、遊び相手は大人になった今でも自然界。日焼け雨風泥んこも平気、擦り傷切り傷は勲章。さすがに今回、蚋・蚊・ダニ等虫の攻勢には閉口しましたが、「大好きな外で過ごせる時間拡大だ！(しかも山寄り)」と迷うことなく5月からお世話になりました。

この半年間で得たものは沢山あります。道具の取扱いやメンテナンスの仕方、チェーンソー・刈払機講習の終了証、木々草花の種別や育成の仕方。獣害について。また、森林の風の方々から伺ったあちらこちらの森の様子や、林業や森林保全にあたる難しさについてのお話。それから御在所岳からの眺め、茸や栗の収穫、蝉や蜻蛉の羽化、獣の足跡 etc. 仕事仲間や指導して下さる方にも恵まれ(皆お父さん！)、毎日が発見と吸収の日々でした。

一方で、考えさせられた事も多々あります。今回、ピオトープを作成する機会を得ましたが、大学で環境学のひとつとして多少齧った事はあるものの、殆ど自分が子供の頃に遊んだ記憶を元に進めました。記憶(思い出)さえあれば何か特別に修めてこなくとも、簡単な理科や物理の知識と根気で、ある程度のものは誰にでも作れるものだと思います。しかし、今の子供達は状況が異なるようです。お金や保護者の時間を確保して、自然に接したり自然保護に努めたりしています。自分にとっては無邪気な日常であった日々が、何かしらお膳立てがないことには成り立たない世の中になっていることに、「本当の意味での<手つかず>の自然の思い出ってあるのかな？」と改めて驚かされました。この池のように、人によって再現された自然が、誰かの自然(記憶)になるのかもしれないと。

私は、おそらく子供時代に自然しかなかった最後の世代です(以降 TV ゲームが台頭するので)。人の手で作られたものとしても、本来の池をイメージし再現できる最後の世代であるのかもしれない、と考えさせられました。

近年、自然環境に対する注目度は高まっていますが、やはり自然に対する畏敬の念は足りないように感じられます。共生・共存と言うものの、あくまで人側の下す判断に左右されます。自然環境が、資本の余剰的立場というのは当然続くだろうし、それに伴って個人や団体や世情もこの先ジレンマを抱えていくのだろうと思います。難儀な世の中です。正直、自身の自然に対するスタンスは「自分の力で手に入れるモノ」なので、自分の為に自然環境が成り立ってくれていればそれでよく、又そのための活動しかしてきませんでした。それでもこの半年で、広くより深く考察する事が出来ましたし、今後何らかの形でフィードバックして行けたらと考えています。

空の下で過ごした森林の風の時間、経験、思考……。迎えば次から次へと景色や言葉は浮かんでいきますが、ただ単純に言えば、「愉快」の一言です。ありがとうございました。



菰野富士からのぞむ、雲影映る夏の御在所岳





随筆 Essay 森林の成長

【裏川】



人が手入れしている里山



シヤタバの森

森は成長し変化を続けています。5年単位くらいでみていくとその様子が少しずつ変化しているのが分かってきます。『森林の風だより』第5号でも紹介させていただきましたが、これまで、森林の風の施業状況はほとんどが人工林で、スギ、ヒノキの山が中心でした。ですがここにきて放置された広葉樹林(旧里山)の施業依頼も出てきました。(ここでいう広葉樹林とは二次林とも言い、昔は人が生きるために管理していた森のことです。)

遠目には同じようでも木々の種類、特性は針葉樹とは比べものにならないくらい多く、むしろ放置された人工林より始末が悪い状況です。ここで広葉樹のことを少し勉強したいと思います。もちろん、実生のヒノキやスギも生えてきますが、広葉樹林は時間の経過につれて樹種が変化していきます。このことを「遷移」といいます。遷移のなかで最初に生えてくる木のことを「先駆種」(パイオニアツリー)といい、アカメガシワ、クサギ、タラノキ、ヌルデなどが代表的です。先駆種の特徴は小さな種がたくさんつくれ、風や鳥によって遠いところまで運ばれます。養分が少ない裸地やちょっとした岩石の隙間などでも成長ができ、種子の寿命が長いのも特徴です。そしてなにより成長が早いことです。太陽の光が絶対的に必要ですが短命の木が多いことも特徴です。

三重県は気候帯の中では「暖温帯」に入ります。年間の平均気温が15 ~ 20 くらいの地域ですが標高が高いところでは「冷温帯」の樹木も多くみられます。鈴鹿山脈の頂上付近はむしろ冷温帯(平均気温10 ~ 15 )の特徴が見られます。森が成長しきって最終段階の様相を「極相林」と言い、構成する樹種を「極相種」と言います。三重県あたりでの極相種はカシ類、シイ類、タブ類の森になると言われています。里山が人間と深く結びついて管理されていたのは約40年前になりますか？これらの森が放置されて極相林に到達するまでには早くても200年から300年後となります。地球温暖化と相まってそのころの三重県は常緑樹の森になってしまうのでしょうか。春の新緑も秋の紅葉も楽しめなくなることは避けたいですね。

SIDE2. 植樹@芸濃町

【瀧口】

平成18年~19年にかけて植樹した山林です。鹿害などで壊滅状態のところ、再度植樹をしました。

急な斜面でしたが参加総数42名で怪我なく無事終了となりました。植樹苗は、コナラ、アオダモ、山紅葉、ハンノキ、山桜、カシなどの広葉樹です。最近植樹イベントの活動が増えてきましたが、施業地では緑に包まれた山を復元していくためのデータも集めていきたいと思っています。



## 活動報告

## 森林の風活動 竹林整備

2011年10月1日(土)

下大久保 会員:6名

放置竹林の整備を継続中です。そのまま竹林内に置いてもなかなか分解されず、竹ポットとするにも大量です。伐採竹の処理にはチップパーが必要だとの思いを深めました。 【水野】



## 矢の峰ひと区切り。

2011年11月5日(土)

亀山市矢の峰会員:5名

今回の活動で全て完了させ

て、書類を纏められる様にしました。活動開始から約3年、いろいろ勉強させて頂いた施業地でした。 【大石】

## 東日本大震災の義援金 ¥33,918

森林の風の募金箱に入れていただいたきありがとうございます。日本赤十字社に届けました。

## 紀宝町チェンソーボランティア

2011年10月17日(金)

紀宝町 会員:4名

9時過ぎに紀宝町社協にあるボランティアセンターに到着。午前中は裏山が崩れた現場と、公園入り口を塞いだ流木を処理しました。

昼からは、被害の一番ひどかった浅里地区に向かい植林地の崩落により家屋が流された所の

流木を処理しました。雨がひどくなってきたので、道路への崩落で帰れなくなることがあるので、さらに奥へ行くのは断念して帰途につくことにしました。 【高崎】



## 現在施行進行中 (回数は目安)

向井F1の森(月2回) 林内整備、獣害対策

亀山野登(月2回) 間伐、間伐練習

四日市西山町(月1回) 植樹後の管理、周辺整備

四日市下大久保(月1回) 竹林整備・竹ポット作成

## &lt; 定期活動日 &gt;

第3日曜日 NTNこもればの森 / 第2・第4日曜日 みえぎまなびの森

## 今後の予定 (詳細はHP等でご確認ください)

鈴鹿市 間伐と枝打ち依頼 0.3ha

鈴鹿森林組合 間伐 20ha

本田技研工業(株)森林保全活動 3月24日(土)



## 2012年度 まちのきこり人育成講座 募集開始!

今年度もケガなく無事に育成講座を終了することができました。参加された中には、早速所有の森林で施業に取り掛かった方もいらっしゃるそうです。森林の風のフィールドにもぜひ。

そして! 間髪入れず、来年度まちのきこり人育成講座のお知らせです。

冬の間伐期を終える頃、3月31日(土)に第1回が始まります。間を空けると「習ったことを忘れてしまう!」とのお声をいただき、春から夏にかけて6月までに全8回を終了するスケジュールとなりました。森林の風のメンバーと一緒にスキルアップしませんか?

夏から秋にかけては、プロに学ぼう! 現場に行こう! まちのきこり人レベルアップ研修会です。そして「たくさん学んだな~」というころ、冬のシーズンを迎えていよいよ現場です! 多くのご参加お待ちしております!